



よろこばせごっこ ~上組っ子通信~

No.10

令和2年 6月26日

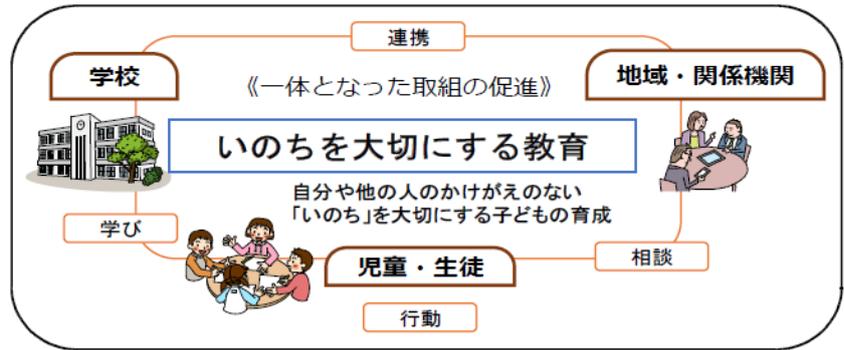
学校の教育目標；五ヶ瀬を愛し、ともに学び合い、ふれあい、高め合う子どもの育成

五ヶ瀬町立上組小学校 TEL 0982-82-0212 FAX 0982-82-0229 文責；校長 三橋正洋

7月1～7日は宮崎県「いのちの教育週間」です

今回は、宮崎県教育委員会が推進している「いのちを大切にする教育」について紹介します。

県では、右の図のように、「いのち」にかかわる内容を、学校、家庭、地域及び関係機関が相互に連携しながら、子どもたちが自他のいのちがかけがえのないものであることを実感できる教育を進めていけるように



取り組んでいます。その中で、【めざす子どもたち】の姿を

- 生まれてきてよかったと思い、いのちにかかわるまわりの人・ものに感謝する
- 自分のいのちを大切にして、いのちいっぱい生きる
- いのちがつながっていることを実感し、次世代へつなげるための準備をする

としています。この取組を受けて、本校では、今年度学期1回を目途に、命に関する講話をすることとしました。初回は、この教育の説明を担当の楯岡先生からしていただき、その後、私が「命の誕生」について話をしました。下にその主な内容を書きます。

この音は何でしょうか？これは赤ちゃんの心臓の音です。もう一度音を流しますので、今度はみなさんの心臓の音の速さと比べてみましょう。では少し時間を取りますので、みなさんは自分の心臓の音を聞いてみてください。どこでわかりますか？

では赤ちゃんの心臓の音を流します。比べてみましょう。どうでしたか？赤ちゃんの心臓の音の方が速かったですか？

次にある映像を流します。あと2か月位で生まれる米村先生家の赤ちゃんの様子です。おなかの中の赤ちゃんは、約2か月にははぶどう1粒で約1グラム、約3か月には、こぶし大ほどまで成長、約7か月の赤ちゃんの身長は約30cm、体重は約1,000gで、メロン1個くらいと言われています。

そして10か月後の赤ちゃんの身長は約50cm、体重は約3,000gで、すいか1個ほどの大きさと言われています。こうして赤ちゃんは誕生します。

お母さんも赤ちゃんも、命がけで、命が生まれるのです。そしてその何年後かの姿がみなさんです。命はたった1つしかありません。だからこそ、大切に大切にしていかななくてはならないのです。自分の命は、自分で守るしかありません。そしてそれと同じくらいに、みなさんのまわりの命も大切にしていってください。

最後に、今生きていることをしっかり味わうために、みなさんの心臓の音を聞いてみましょう。準備してください。準備ができれば、目を閉じてください。今から30秒間、静かに命の音を聞いてみましょう。命を大切に大切に、という気持ちを込めて。では始めます。

今日は最後までしっかり考えてくれてありがとうございました。今の話で思ったこと、感じたことをこの後、書いてもらいます。いつも言うことですが、自分の気持ちをまとめることはとても大事なことです。じっくり振り返ってみてください。

次に子どもたちの感想を紹介します。(紙面の関係で文面は一部変えているところがあります)

○命は1つしかないから、大切にしようと思った。
○びっくりした。みんなの命だから、自分の命を大切にしたい。みんなも生きてほしい。
○命がけで僕も生まれてきたんだ、と思った。
○10か月の赤ちゃんの大きさはスイカの大きさだから、(お母さんの)体じゅうが重たいだろうなあと思った。
○あかちゃんはこうやって成長するのを知った。命を大切にしようと思った。
○校長先生の子どもが命が危ないのに、生まれてきてよかった。初めて心臓の音を聞いて、すごい音だと思った。
○赤ちゃんの心拍がすごかった。心拍数も早かった。私たちもそうだったと初めて知った。
○赤ちゃんの心臓の音が、馬の足音のような音をしていてびっくりした。
○私は母親から約2000gで生まれてきました。お母さんはその重さの私を(おなかに)入れていたのがすごいと思いました。
○自分の心臓の音を聞いて、命は大切にしないといけないということがわかった。他の人の命も大切にしないといけないので、困っていたら助けてあげられるようにしたい。
○理科で赤ちゃんのことをいろいろ習ったのですが、今日の学習で、また、習っていないことを知った。私たちを産んでくれたお母さんは、スイカのように重い赤ちゃんを抱いていたと聞いて、鳥肌が立つほど驚いた。
○赤ちゃんが生まれた時が約3kgでスイカと同じくらいと聞いてびっくりした。命の大切さをあまり考えたことがなかったので、考えられてよかった。
○赤ちゃんの心臓の音が、僕たちと違ったのでびっくりした。命がけで生まれてくることを聞いて、命は大切だということがわかった。

上の取組以外でも、先日行った、本年度最初の夕焼けトークで、講師でお招きした繁殖牛農家の津隈さんから、仕事の説明や苦労、やりがい等のお話をうかがいました。「『いただきます』をいう時に命をいただいていることを意識してほしい」など、いろいろな気づきがある、とても大切な時間となりました。

7月1日から「いのちの教育週間」が始まります。学校でもこの間、土砂災害防止に関する講話を計画し、命を守るためにはどうすればよいかを考えます。ご家庭でも、この機会にぜひ、「かけがえのない命」について、親子でじっくり考える時間をとっていただけますと幸いです。



※ わくわくランチスタート

25日(木)、例年実施しているわくわくランチ(地域の方との給食)を始めました。いつもであればもっと早く行っているのですが、新型コロナウイルス感染症対策のため自粛していました。今回は2人の館長さんに来ていただき、各教室でそれぞれ1・2年、3年の子どもたちと給食を共にしていただきました。今後は状況が落ち着き次第、全校児童とわくわくランチを実施する予定です。今日来ていただいた館長さん、温かい時をありがとうございました。



*お知らせ

現在、高千穂小学校で、「令和2年度教科書展示会」が行われています。令和3年度から使用される中学校の教科書も展示されています。7月1日までです。ぜひ一度どうですか？